

つなぐ



諫早市立大草小学校
特別支援教育
コーディネーターだより
H31.3.5 No.39
文責 林田

☺ 3月(今年度最後)のSST ☺

昨日の大草タイムの時間、今年度最後の全校SSTを行いました。今回の目標は「場に応じた行動ができるようになる」です。初めに、「けがをした子」の挿絵を見せ、

「こんな時は、どうしますか？」と投げかけました。子どもたちは、「大丈夫？って、保健室に連れていく。」「ティッシュで血を拭いてあげる。」と答えました。そこで、「誰かがけがをした場面では、近づいて声をかける」ことが正しい行動であることを押さえました。

一方、生活の様々な場面では、「近づいていいのか考えないといけない場面もある」ことを伝え、本時の学習に入りました。

3つのモデルどれも、「担任の先生が忘れ物をした子に指導をしている場面」でした。それぞれのモデルがどのような行動をしているか考えながら、役割演技を見るように指示を出しました。



誰かがけがをしていたら…
・ 近づく。
・ 声をかける。
・ 保健室に連れていく。
・ 手当をする。

〈モデル1〉「先生、どうしたんですか？」(指導している場に近づいていく様子)

自分が指導を受けているところに誰かがやってきて話しかけられたらどんな気持ちか尋ねると、「『何で、今、話しかけるの…。』という気持ちになった。」と正直な感想を述べてくれました。残り2つのモデルでは以下のような気持ちを話していました。

忘れ物をしないように連絡帳に書いて確認するように…。

先生、どうしたんですか？

〈モデル2〉「〇〇さんは、昨日も忘れていたんですよ。」(告げ口をする様子)

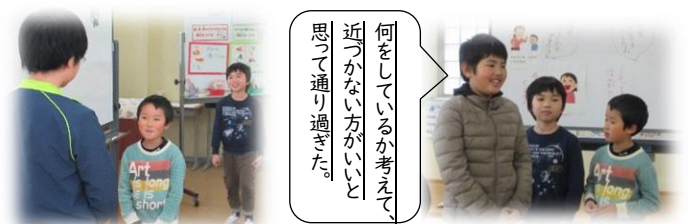


君は、どうして忘れ物をしたのかな…。

告げ口されるとイラっとするな。(腹がたつな。)

先生、〇〇さんは昨日も忘れていましたよ。

〈モデル3〉「・・・。」(黙って通り過ぎる様子)



何をしているか考えて近づかない方がいいと思うって通り過ぎた。

* 今日のまとめ *

場に応じた行動をするには、

- ①(近づいていいか)考える
- ②(場合によっては)静かに離れる

最後に、担任の先生と、場面ごとの行動を考える練習をしました。

〇〇の場面では、近づく？それとも離れる？

9月からスタートした全校SST。日々の生活の中で取り入れながら、子どもたちの社会的スキルをアップしていくことができるように指導を続けていきます。1年のまとめとして、どんなSSTに取り組んだか、各学級で振り返りをする予定です。